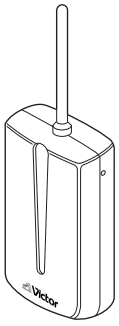
設置説明書

Victor WT-Q830 ワイヤレスアンテナ（800MHz帯）



特長

- 屋外への設置が可能です。
  JIS保護等級4級（防まつ形）
- 目立ちにくい薄型です。
- 混信や妨害ノイズを少なくするエリア設定が可能です。
  （3段階切換え）

私たちは環境・資源を大切にしています。
この設置説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙100%）を使用しています。

設置の前にこの「設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置して下さい。
設置後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

絵表示について

この設置説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

分解禁止

⚠警告	⚠注意
本機を取り付ける時は、確実に固定して下さい。落下・脱落の原因となります。	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。（分解禁止）	アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

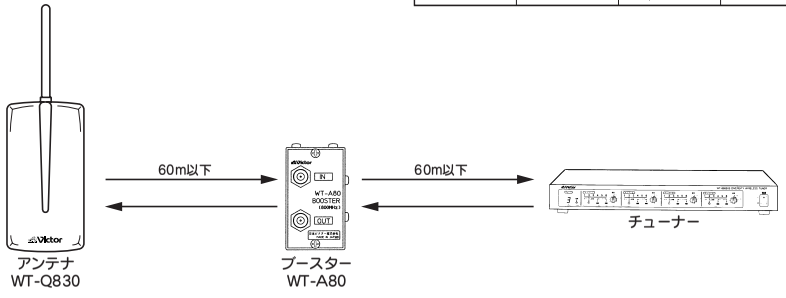
設置上のご注意

- かならず指定の適合ワイヤレスチューナーと組み合わせてご使用ください。
- アンテナは、かならず垂直に取り付け、天井および壁から30cm以上はなしてください。
- 2本のアンテナの間隔は、2～20m以内にしてください。
- 本機とワイヤレスマイクの距離が3m以上離れるように設置してください。3m以内に近づきますと、使用していないチャンネルに、飛び込みや混信などが発生することがあります。
- 高層ビル内等に設置するときは、放送電波、業務電波および外来ノイズなどの影響を少なくするため、窓より離して（30cm以上）設置してください。
- 同軸ケーブルの先端処理及びアンテナ本体への接続、F型コネクタへの接続は確実に行ってください。処理および接続が不完全な場合は、受信感度が低下したり、外来ノイズの影響を受けやすくなります。
- 大きな金属製の製品などからは、できるだけ離して設置してください。
- 取り付けはアンテナが動かないようにスクリューを確実に締め付けてください。
- 同軸ケーブルは、5C-FB（BS用）をお使いください。BS用でないケーブルをご使用になると受信感度の低下やノイズの原因となりますのでご注意ください。
- 屋外に設置する場合は、必ずアンテナロッドを上にして設置してください。

同軸ケーブルについて

ケーブルは5C-FB（BS用）が当社推奨品となっております。ワイヤレスチューナーとアンテナ間ケーブル距離は右表をご参照ください。

同軸ケーブルの種類	アンテナから受信機までの長さ	太　さ	
5C-FB	60m以内	約φ7.4mm	当社推奨品
7C-FB	75m以内	約φ10.0mm	参　考　値



ご注意

7C-FBの同軸ケーブルは、■壁に直接取り付ける場合（露出配線）のみ使用可能です。

保証とアフターサービスについて

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保 証 期 間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

アンテナWT-Q830の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口に修理をご依頼ください。

保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ワイヤレスアンテナ
型　　名	WT-Q830
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店　名	☎（　　）　–

修 理 料 金 の 仕 組 み

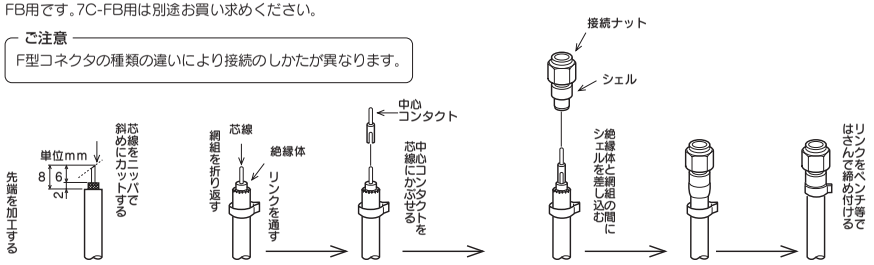
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

F型コネクターと同軸ケーブルの接続のしかた

F型コネクターの接続は販売店にご相談ください。

本機に添付されているF型コネクターは、本機とワイヤレスチューナーを接続する時にご使用ください。なお、添付のF型コネクターは5C-FB用です。7C-FB用は別途お買い求めください。

ご注意
F型コネクタの種類の違いにより接続のしかたが異なります。



商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

受信周波数範囲	806～810MHz
電　　源	DC8～15V動作可能、同軸ケーブルに重畳
消費電流	10mA
ダイポール比相対利得	10dB（ブースターアンプ含む、地上高3.5m設置時）
エリア設定	3段階切換（広、中、狭）
推奨同軸ケーブル	5C-FB（BS用）
防　水　性	JIS保護等級4級（防まつ形）
適合ワイヤレスチューナー	WT-860B,WT-870B,WT-880B,WT-UD80,WT-UD81
外形寸法	幅68×高さ130×奥行38mm（突起物含まず）
質　　量	145g
仕　　上　げ	アイボリー色モールド成型（マンセル4Y8/0.9近似）
付属品・添付物	設置説明書 …… 1　コードブッシュ …… 1 保証書 …… 1　ねじ（M4×40） …… 2 ビクターサービス窓口案内 …… 1　木ねじ（φ4.1×38） …… 2 F型コネクター …… 1　ブランクシート …… 1

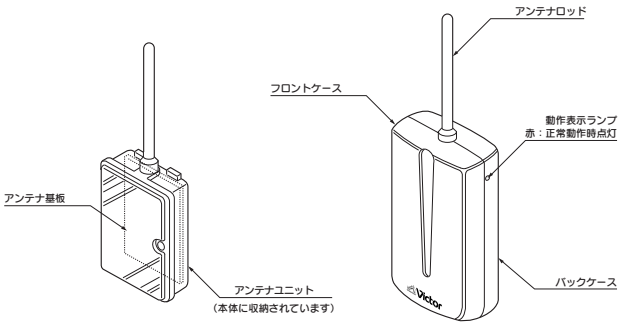
Victor　JVC
日本ビクター株式会社

お客様ご相談センター
〒113 東京都文京区本郷3－14－ 7　ビクター本郷ビル　電話（03）5684–9311
〒543 大阪市天王寺区小橋町10－16　大阪ビクタービル　電話（06）765–4161
システム事業部
〒192 東京都八王子市石川町2969－2　電話（0426）60–7243（ダイヤルイン）

© 1997 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

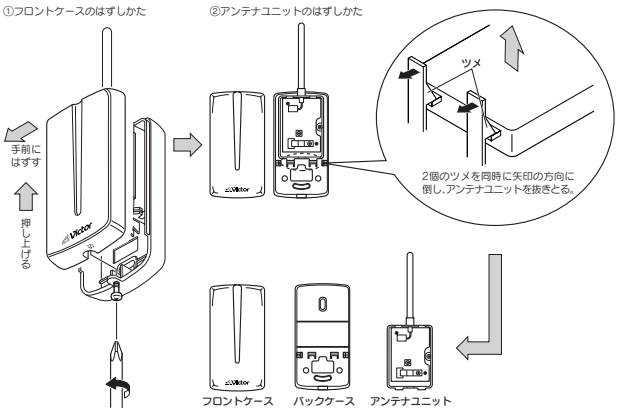
SS961299-001

各部の名称



設置の前に

設置する前に、本体を「フロントケース」、「バックケース」、「アンテナユニット」の3 つに分解します。



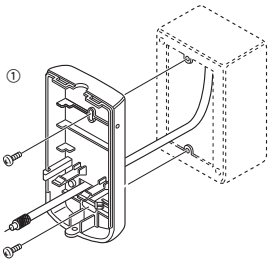
設置のしかた

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

①バックケースを固定します。

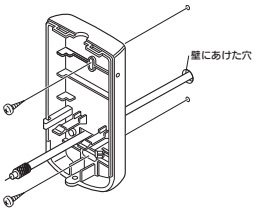
■壁埋め込み電工ボックスに取り付ける場合

1. ケーブルをバックケースに通し、バックケースを添付ねじ（M4×40）2 本で電工ボックスに固定します。



■壁に直接取り付ける場合（引き出し配線の場合）

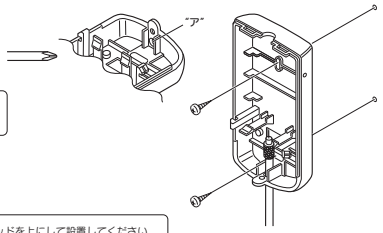
1. ケーブルをバックケースに通し、バックケースを添付の木ねじ（φ4.1×38）2 本で壁に固定します。



■壁に直接取り付ける場合（露出配線）

1. ドライバー等でバックケースの"ア"部を打ち抜いてください。
2. バックケースの取り付けは添付の木ねじ（φ4.1 ×38）を使用します。
   1であけた穴にケーブルを通してください。

ご注意
コンクリートの壁に取り付けるときは、コンクリート用のねじをお使いください。



■電柱等、ポールに取り付ける場合

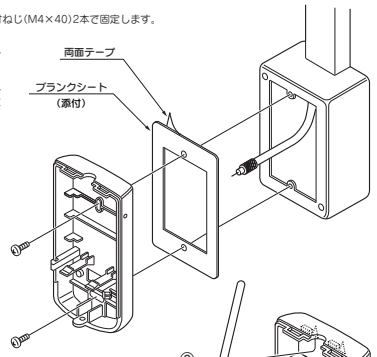
ご注意
本機を屋外に設置する場合は必ずアンテナロッドを上にして設置してください。
アンテナロッドを下にした場合雨水が侵入し、故障の原因となります。

別売のブラケット（PA-Z83J ）とステンレスバンド（SFTシリーズ）イワブチ㈱製をお買い求めください。取り付け時はブラケットに添付の設置説明書をご参照ください。

1. バックケースをPA-Z83Jのブラケットに添付ねじ（M4×40）2本で固定します。

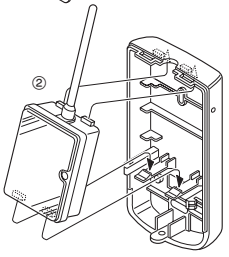
■露出電工ボックスに取り付ける場合

1. 電工ボックスに添付のブランクシートを貼ってください。
2. ケーブルをバックケースに通し、バックケースを添付のM4×40のねじ2 本で電工ボックスに固定します。



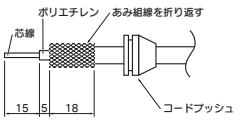
②アンテナユニットをバックケースに取り付けます。

（バックケースのツメでアンテナユニットが確実に固定されていることを確認してください。

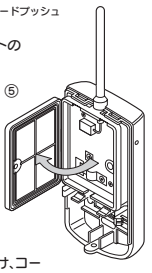


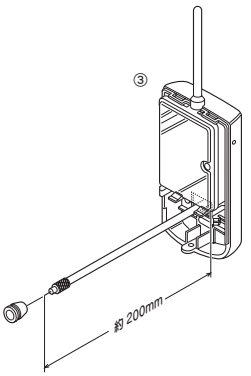
③ケーブルを約200mm の長さに切断し、先端を処理します。

④処理後、添付のコードブッシュをケーブルに通します。
（屋内に設置の場合、コードブッシュは不要です。）

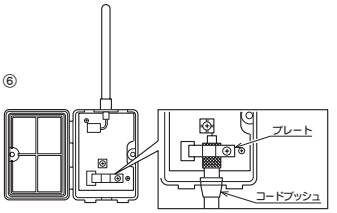


⑤ネジを緩めて、アンテナユニットのカバーを開けます。





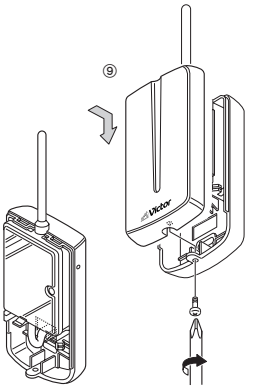
⑥アンテナユニットのカバーを開け、コードブッシュをアンテナユニットの凹部にはめ込みます。
アンテナ基板にケーブルを固定します。



⑦⑥のカバーを元に戻し固定します。

⑧余分なケーブルを電工ボックスへ押し込みます。

⑨フロントケースをバックケースに固定し完了です。

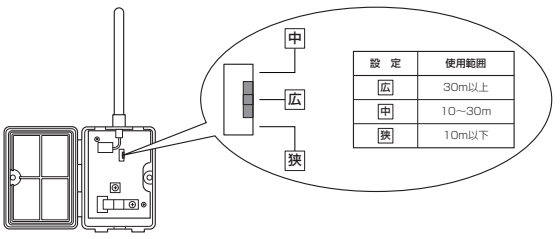


エリア設定スイッチについて

エリア設定スイッチの変更は販売店にご相談ください。

瞬室など近くで別のワイヤレスシステムを使用しているときに、混信や妨害ノイズが生じる場合があります。この場合エリア設定スイッチ（アッテネータスイッチ）の設定を変更することで混信や妨害ノイズを少なくすることができます。

ご注意
エリア設定スイッチを 中 や 狭 に 設定すると、混信などが少なくなると同時に、受信レベルが弱くなり、ワイヤレスマイクの使用できる範囲が狭くなります。設定変更を行った場合には使用する範囲での音途切れなどの動作確認を行ってください。（出荷時は 広 に 設定されています）



設　定	使用範囲
広	30m以上
中	10～30m
狭	10m以下